



束草

米子

姉妹都市

束ソク草チヨ

米子市は、韓国の江原道東部に位置する束草（ソクチヨ）市と1995年に姉妹都市提携を結び、さまざまな交流を重ねてきました。

コロナ禍や国際情勢により交流が難しい時期もありましたが、昨年10月に伊木市長が束草市を訪問し、中断していた職員相互派遣の再開を確認するなど、今後の交流について意見交換をしました。

米子空港からのソウルへの定期便も復活するなど、2025年の姉妹都市締結30周年を前に、ますます交流の機運が高まっています。

今回は、これまでの交流の歴史や束草の今について紹介します。

ソクチヨ
DATA

人口：約8万2千人 面積：105.30 km²
周辺には国立公園・雪岳山（ソラクサン）があり、山、海、湖、温泉などの豊かな自然に恵まれ、国内外から年間2,400万人の観光客が訪れる韓国有数の観光地です。
水産業・水産加工業が盛んで、イカと紅ズワイガニの水揚げ量は、韓国国内で一二を争います。

米子・東草交流の歩み

鳥取県と韓国の江原道が友好提携に向けて交流を進めていた中で、1993年に当時の米子市長が東草市を訪れたことを契機に米子と東草の交流が始まりました。その翌年には東草市長が米子市を訪れ、「交流協力推進に関する基本協議書」を取り交わし、交流は本格化。1995年10月に東草市長を団長とする訪日団が訪れ、姉妹都市提携が結ばれました。それ以降、幅広い分野で交流が実施されていきます。

一官から民へ広がり根付いた交流の輪

市から35人、東草市から31人の職員が海を渡りました。職員派遣により発展した信頼関係は市民間の交流にも繋がりました。両市の祭（米子のがいな祭と東草の雪岳文化祭）への民俗公演団の相互派遣や、野球を通しての交流、青少年のホームステイ交流も実施され、地域に密着した草の根交流を重ねてきました。近年はコロナ禍や国際情勢により交流が難しい時期もありましたが、昨年10月に伊木米子市長が東草市を訪問し、今後の交流の活性化に向けてイ・ビョンソン東草市長と意見を交わしました。



「姉妹都市提携に関する締結書」に調印した後、握手を交わす森田・元米子市長（右）とトン・元東草市長（左）（1995年10月18日）



東草市で会談した伊木米子市長（右）とイ・ビョンソン東草市長（左）（2023年10月7日）



雪岳文化祭のパレードに参加する、がいなCONメンバー（2023年10月6日）



米子市→東草市
2005年9月～12月派遣

米子市下水道営業課 課長
はやし やすし
林 康志

東草は海と山が美しいまちで、特に雪岳山^{ソラクサン}の紅葉はとても素晴らしく、印象に残っています。また、東草の皆さんは情に厚いことに加え、観光に力を入れている都市であることから、おもてなしの精神が行き届き、外国人である私に優しく接してくださいました。

派遣中に東草の方と思い出に残ることをしたいと思い、「たご焼き交流会」を企画しました。日本からたご焼きの鉄板と食材を持ち込み、東草の方にレシピを渡し、一緒に作りました。とても喜んでもらって、私もうれしかったです。

帰国後も韓国語の勉強を続け、東草からのお客さまの通訳補助や、学生のホームステイの受け入れなどをしました。



東草の美味しいタコでたご焼きづくり



東草市→米子市
1997年4月～9月派遣

東草市 副市長
キム ソンリム
金 聖林さん

米子への職員派遣は、私にとって初めての海外生活でしたが、米子は山、海、温泉があり、東草と自然環境が似ていて、生活しやすかったです。米子市役所で勤務した際は社会福祉施設や環境施設を見学し、先進的な福祉制度や環境政策に大変感銘を受けました。派遣から20年が経ちましたが、東草市での現在の業務にも、当時学んだ内容が生かされています。

米子では、私を自分の息子のように世話してくださいました方がいました。研修後に米子を訪れたときも、たくさんの方に面倒を見てもらい、関係者の皆さまにはこの場を借りて感謝の言葉を伝えたいです。米子は私にとって親しみある第二のふるさとです。また訪れたいです。



東草からの派遣職員第一号として挨拶する金さん

職員相互派遣の思い出

青少年同士の交流

鳥取県西部地区日韓親善協会と東草市米子市姉妹都市委員会の絆

鳥取県西部地区日韓親善協会と東草市の民間団体「東草市・米子市姉妹都市委員会」は、2001年4月に姉妹提携を結び、積極的な友好交流を重ねてきました。

これまでに、茶道、琴、銭太鼓などの文化団体による文化交流や、サッカーや柔道などのスポーツ交流、ホームステイ交流など、互に行き来しながら、主に青少年の交流に力を注ぎ、これまでに約400人以上の人たちが参加し、絆を築いてきました。



交流15周年の際に実施した東草でのサッカー交流

青少年交流に平和の希望を



鳥取県西部地区
日韓親善協会 会長
すぎはら こういちろう
杉原 弘一郎さん

その時々国際情勢で、国と国の関係は途絶えることがあります。ですが、人と人との友情は途絶えません。特に、若い人たちが交流し、お互いを知り、友だちになれば、その次の世代にも受け継がれ、交流の裾野が広がります。私は、子どもたちに平和の望みを託したいと思っています。

昨年、東草を訪れたとき、「杉原さん！」と2人から声をかけられました。なぜ私のことを知っているんだろう？と思ったら、昔交流に関わった、かつての子どもたちでした。「あの時はお世話になりました」とお互いに言葉を交わすことができ、国際交流に携わって本当に良かったな、と非常に感慨深いものがありました。

私が関わった東草の人たちは、みんな楽しい人たちで、情熱的で、世話好きです。訪れると、いつもものすごく歓迎してくれます。コロナ禍や国際情勢の緊迫化で、ここ5～6年は交流を中断していましたが、また米子市の青少年を募り、交流を深めていきたいと思うので、ぜひたくさんの人に参加していただきたいと思います。

国が違って、人と人との付き合いは何も変わりません。現在も世界では争いが絶えませんが、相手を知り、友だちになることは戦争の抑止力になります。平和のためにも、国際交流はとても大切なことです。

多彩な交流の推進を



東草市・米子市
姉妹都市委員会 会長
ハン ミョングフ
韓 明玉さん

昨年の10月に、東草市で開催された雪岳文化祭に伊木米子市長を団長とする米子市の訪問団がいらっしゃいました。米子の舞踊団の皆さんが踊りを披露してくださり、両都市間の友好が一層深まったのを感じました。

東草市・米子市姉妹都市委員会と鳥取県西部地区日韓親善協会は活発な交流を続けてきましたが、昨今の諸事情や、特に新型コロナウイルスによって交流が膠着してしまったことは非常に残念でした。しかし今回の雪岳文化祭を契機に、両都市間の今後の活発な交流の再開に希望を持つことができました。

今後はまず、ホームステイ交流を再開し、両都市の青少年が家庭体験を通して、お互いの言葉や文化を学ぶ機会をつくる必要があると感じています。

また、米子市は登山愛好家なら一度は行ってみたい山・大山が近く、韓国からの直行便もあるため観光地として非常に魅力的です。東草も年間約2,400万人の観光客が訪れる韓国有数の観光地で、両都市ともに国際空港とクルーズ港が近くにあるにもかかわらず、両都市間の航路がないのが現状です。今後も文化的な交流を続け、両都市の市民の関心を高めながら、観光も含めた多彩な交流が進むことを望みます。

삼

写真を通じた交流

米子写交會と青峰写真會の絆

米子写交會は、2016年に設立された写真愛好家のグループです。当時、東草から米子に派遣されていた職員が東草の写真グループ・青峰(チョンボン)写真會で活動していたことが縁となり、交流が始まりました。米子と東草を互いに行き来し、一緒に撮影に出かけたり、写真展を開催したりしています。また、会員が閲覧できるSNSでも交流を深めています。

おもてなしに感動



米子写交會
会長

こなだ けいこ
小灘 敬子さん

私たちが東草に行くと、青峰写真會の皆さんは、いつも全員が一所懸命にもてなしてくださいます。東草から約200km離れた仁川空港まで車で迎えに来てくれたり、朝・昼・晩と東草の美味しい海の幸や山の幸を食べに連れて行ってくれたり、色々な名所で一緒に撮影したり。このおもてなしは、実際体験してみないと伝わらないと思いますが、とても温かく感動的なものです。

交流は今年で8年目、写真展は記念すべき第10回を迎えます。青峰写真會の皆さんと、これまで交流を続けてこられて本当に良かったなと思います。

米子写交會 メンバー募集中!

米子写交會では共に活動する仲間を募集しています。次の方、お待ちしております!

- ◇プロ・アマ、写真スキルは問いません
- ◇鳥取県や島根県にお住まいで、米子での活動に日帰り参加が可能な方
- ◇撮影会や写真展にできる限り参加できる方
- ◇外国との交流に興味がある方
- ◇メールでやり取りできる方、Facebook のアカウントを持っている方・持てる方



교류의 추억 交流の思い出



昨年10月に第9回合同写真展が東草で開催された



雪岳山・蔚山岩を望むフォトスポットで撮影会



東草の名所・靈琴亭の朝 (小灘さん撮影)

青峰写真會からのメッセージ

- ・米子写交會が山陰地方最高の写真クラブに発展することを祈ります (尹英美さん)
- ・米子写交會との交流展を通じて、米子や東草の魅力が、もっと米子の皆さんに伝わるといいなと思います (朴東華さん)
- ・米子写交會と青峰写真會の交流がより深く、長く続くことを願います (金台星さん)
- ・写真を通じて東草・米子の交流がより一層活発になることを願います (張勳さん)
- ・東草と米子の縁が長く続くことを希望します (金範錫さん)
- ・似ている点が多い両都市の交流が写真を通じてもっと活発になればと思います (閔峻圭さん)

韓国有数の観光地

束草 観光

永郎湖 (ヨンナンホ)

まちの中心部に広がる巨大な天然の潟湖です。周囲の散策路では、春には桜、秋には紅葉が楽しめます。

ランニングや
サイクリングも
楽しめます！



束草は韓国有数の観光地として国内外からたくさんの観光客が集まります。海や山などの風光明媚な自然を楽しめるほか、港町ならではの海産物が楽しめる市場などがあります。近年は急速に都市化も進み、近代的な高層ビルが建ち並びます。

私がお案内します！

米子市国際交流員
シン
申 ナリ



夜はライトアップも
きれいです！

霊琴亭 (ヨングムジョン)

束草灯台の周辺には岩場が広がっており、波が岩場に打ち寄せる音が琴の音色のように聞こえることから、この一帯は霊琴亭と呼ばれています。東屋から海を眺めることができる人気の観光スポットです。



韓国ドラマのロケ地
としても有名！

海の香り路 (パダヒャンギロ)

束草海水浴場からウェオンチ港を結ぶ約1.74kmの海沿いの散策路です。果てしなく広がるダイナミックな海を間近で感じながら、のんびりと散策を楽しむことができます。

夏は10時まで営業！
夜も、にぎやか



束草海水浴場

遠浅で、透明度の高いビーチです。夏になると、国内外から海水浴客が集まり、にぎわいます。また、近くには大観覧車やフォトスポットなどもあり、海水浴以外にも楽しめます。



雪岳山 (ソラクサン)

花こう岩でできた切り立った峰が連なる名峰です。最高峰は、標高約1,708mの大青峰 (デジョンボン)。束草市からは、初心者向けのハイキングコースやロープウェイなどで登ることができます。特に秋の紅葉が人気です。



山登りが苦手な方は
ロープウェイで

自分たちでロープを
引くこともできます



渡し舟「ケッペ」

束草にあるアバイ村 (朝鮮戦争の際に北朝鮮から避難してきた人たちが暮らした村) と市街地をつなぐ渡し舟です。50mほどの距離を地上につながったロープを引いて手動で進みます。今は橋で繋がっていますが、かつては人々の生活に欠かせない交通手段でした。

他にも
おいしい郷土料理が
たくさんあります！



オジンオスンデ

束草には北朝鮮から移り住んだ人が多いことから、北朝鮮の郷土料理が味わえます。もち米や細かく切った野菜をイカに詰めたオジンオスンデは束草名物の1つ。輪切りにして溶き卵の衣を付けて焼き、スケトウダラの刺身の和え物と一緒に食べるのが束草風！



豚の大腸にもち米などを詰めた
アバイスンデも有名



束草がさらに近く！ 米子ソウル便 運航再開！

米子空港からソウル・仁川空港への定期便が運航を再開しました！運航日は日・水・金の週3日です。束草へは、ソウルからバスで約2時間30分の旅となりますが、2027年には高速鉄道が開通予定で、ますます近くなります！

運航日：日・水・金	出発時刻	到着時刻
米子→ソウル	午後3時50分	午後5時40分
ソウル→米子	午後1時20分	午後2時50分

※運航スケジュールは変更になる場合があります。